

恵みと真理のニュース



2012年11月の二次 恵みと真理教会

韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養5洞 458-5 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net



【証】 偶像崇拝をしていた私を神様の働き人に変えてくださいました。

私は信仰の家庭で生まれました。しかし、私は思春期に入ったあと、教会から離れてしまいました。そして親を心配させる娘になっていました。しかし、お母さんは私のために涙を流しながら祈りました。時間が過ぎていくうちに「これは何か間違っている。」と思い、変わっている自分をなんとか、戻そうとしましたが、そのときはもう遅れていたようでした。

お母さんは病と戦っていましたが、私の力では何もできませんでした。そんなお母さんが亡くなってから私は神様への憎みが強くなり、神様からもっと遠いこの世へ逃げ出してしまいました。私は偶像崇拝する人になり、占い師たちと毎日のように会って一緒に過ごしながらその仲間に入りました。さらに、近所の人たちにも占いを勧めておほらいをするようにしました。また、占いの中でももっとも有名なゲリョン山(韓国にある山)をまるで家のように毎日登ったりしていたら、私の人生には旦那も子どもたちも要らないと言っている占い師の話を信じるようになって、人の人生まで揺らしたり、毎月一日になるとお酒をまいて偶像を捧げたりするなど、徹底的にサタンの下部になってしまいました。また、亡くなったお母さんの道を整えてあげると言いながら時々おほらいもしました。今考えるととても愚かな者がバカバカしいことばかりしながら人生を無駄にしてしまったと思いますが、当時は結婚をして息子を産んで育ちな

がらもこの占いを辞めることができませんでした。

旦那が交通事故にあった後、今まで暮らしてきたソサン(韓国の地名)からソウル(韓国の地名)へ引っ越ししました。そしてまた違う偶像宗教にはまってしまいました。いろんな偶像の沼でジタバタしているとき、一生忘れられない日が近寄ってきました。2000年6月25日、恵みと真理が溢れる当會長チョヨンモク牧師先生のメッセージを聞くチャンスができたのです。そして御言葉の恵みと力によって私に大きな変化がおきました。両手を上げて主の御前に出てきたのです。限りない愛の神様は、墮落した私を見捨てておらず、「我を救いしき恵み、、、」この賛美を歌いながら涙と鼻水を流し悔い改めの祈りをしました。牧師先生が語った「しかし、彼は、私たちのそむきの罪のために刺し通され、私たちの咎のために砕かれた。彼への懲らしめが 私たちに平安をもたらし、彼の打ち傷によって、私たちはいやされた。」(イザヤ53:5)この御言葉が心の深いところに根づきました。

虫、動物のような人生を過してきた私が教会で悔い改めの祈りとともに、神様を受け入れました。また、その日から首席区域長と一緒にすべても礼拝に参加し、伝道にも一生懸命に参加しました。2002年には神様はかわいい娘を与えてくださり、頭痛で苦勞していた私を完治してくださいました。さらに腰の痛みもいつからか治っていました。神様の愛がどれほど大きいか、言葉や文字で表すこともできないくらいである

ことをいろんな体験を通して悟らせてくださいました。

いつからか、区域長たちが持っているカバンがとても素的でうらやましかったです。また、聖歌台の席がとても高く見えました。私もその場で奉仕したいと願いました。そして頑張っって信仰生活しながら伝道しました。どんな恵みか、どんなことなのか、神様が私にも区域長の務めを与えてくださって伝道賞をもらうようにしてくださいました。区域長になってとても嬉しくて肩が上がるくらいでした。それでもっと頑張っって主の働きをしたら、今度は神様が旦那も救っってくださいました。ハレルヤ！今は児童部先生の務め与えてくださり、もっと頑張っって働くように時による恵みをそそいでくださいました。

“神よ。私の心はゆるぎません。私は歌い、私のたましいもまた、ほめ歌を歌いましょう。”(詩篇108:1)このようなダビデの告白が今日私の信仰と愛の告白になります。地獄で永遠に罰を受けるしかなかった私のような罪人をお許しくださり、神様の子どもとして生まれ変わるようにしてくださった神様。さらに、神様の御国の大事な務めを与えてくださった良き神様に感謝と賛美の栄光を捧げます。毎日約束の御言葉に頼るとき、信仰のレースで勝利を与えてくださる神様に最後まで依頼し、真ごころをもって仕え献身する人生を歩みます。そして、当會長牧師先生が恵みと真理教会の聖徒たちに長く尊い恵みの御言葉を伝えてくださることを心から願います。



【信仰コラム】 「ストレスとホメシス」

“私たちは、四方八方から苦しめられますが、窮することはありません。途方にくれていますが、行きづまることはありません。”(Ⅱコリント4:7-9)

ストレスが私たちの体と精神に強い刺激を与えることによって悪い結果をもたらします。しかし、適度な刺激は逆に、有益な結果をもたらします。このように有益な結果をもたらすその効果を、ホメシスと言います。職場で受けるストレスのせいで死にそうと言う人が本当に職場を辞めたら、毎日のように老いていきます。それは職場でのストレスが彼には適度な刺激であるホメシスになっていたため、それが老化を保つ働きをするのです。

キリスト人に迫ってくる各種のストレスを溜めず、すぐ解除しホメシスの状態にする秘訣があります。聖徒の中でもっともよく知られていることです。その中でもっとも大事なことは、その秘訣を心に決めて実践することです。

第一、祈りをもって神様に助けを求め、委ねることがその秘訣です。心配する間祈り続けることによって我々の理解を超える神様の平安が私たちの心と考えを見守ってくださいます。理性的に考えると、心が平安になれない状況であるにもかかわらず、心と考えの中に平安が訪

れます。このような平安が神様からの平安なのです。この平安によってストレスをなくし、ストレスを乗り越えることができます。

モーセはイスラエルの民たちを導く大事な役割をしながら、何回も困難に直面しました。特に、民たちの憎みや不平不満はモーセにとってとても大きなストレスになりました。しかし、その問題を自分の力で解決しようとせず、祈りながら神様に助けを求め、委ねました。神様はそのストレスをホメシスの状態にしてくださいました。モーセが120歳になるまでも、神様に呼ばれる最後のその日まで元気よく働くことができました。

第二、賛美をもって神様に感謝し、栄光を捧げることがその秘訣です。連合軍の攻撃に対抗し賛美チームを組んで賛美をしながら前に進んだヨシャファト王。また、豊かなときにも貧しいときも苦しいときも、いつも賛美をしていたダビデ王、殴られ暗い監獄の中に入れられても夜中まで賛美をした使徒パウルとシラスは賛美の威力を見せた人物です。彼らはたくさんのストレスに対して賛美をもって対応し、それがホメシスになるようにしました。

たくさんのストレスで落ち込んだり、不安が迫ってきたとき、最高の対応は助け主の神様を見つめ、賛美することです。たくさんのストレス

も主に賛美する聖徒に向けて悪いことをすることはできません。

第三、神様の御言葉で心豊かになることがその秘訣です。コロサイ3:16に“キリストのことばを、あなたがたのうちに豊かに住ませ、”と記録されております。“住ませ”という言葉は簡単に訳すと、“住ませる”という意味になります。神様の御言葉は生きている御言葉です。このような御言葉が私たちの心で満ち溢れると外部のストレスがいくら大きくても打ち勝つことができます。

使徒パウルはたくさんの試練と苦しみの中で迫害されましたが、そのすべてのストレスを十分に打ち勝ち、余裕をもって活動することができました。その秘訣は外部の圧力に相応する力、御言葉を胸に抱いていたからのです。

祈ること、賛美すること、神様の御言葉で心豊かになることによって、いくら大きなストレスがたくさんあるとしても十分ホメシスの状態に変えることができます。さらにストレスが我々に悪いことができないようにし、逆に神様との関係がもっと切なくなり、信仰の進歩が現れるようになります。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム『緑の牧場、清い川』本の語り中」

イエス様に対する三つの種類の反応と態度



恵みと真理教会 チョヨンモク 牧師

人類の歴史でイエスキリストの誕生と死と復活の事件よりも重大な出来事はありません。地域的にはパレスチナのベツレヘムとエルサレムであり、時間的にはわずか 33 年の間に起こったことが、その歴史的事実の重大さは宇宙的であり永遠です。そのため、イエスキリストの誕生と死と復活の話は伝え聞く皆にいつも神秘的、新鮮な感動と恵みが靈魂に一杯になります。毎年クリスマスが近づくと私たちの心が楽しい理由もそこにあります。

第一は、ヘロッド王のような反応と態度を取る人々がいます。

イエス様に対して敵視して憎悪する人々がいます。こんな類の人々はイエス様に対して被害妄想症を持った者等です。イエス様を自分の地位や権勢や利益に対して脅迫的な存在だと思えます。自分の欲望どおりこの世を生きているのに邪魔者で思えます。こんな種類の人々の中にはイエス様を対敵する事において卑劣で過激な行動をほしいままにする人もいます。キリストイエスを信じる人を逼迫して教会を残骸してあるいは神様を対抗して途方もないもの言ったりします。ヘロッド王はこのような人々を代表する典型的な人物です。ヘロッド王は王の地位にひどくとらわれすぎたからいつも疑心証に陥っていました。年が多くなるほど彼の疑心証はもっとひどくなって結局には殺人魔になってしまいました。彼は言うのを「私が死んで葬る時は誰も哀哭しないだろうから私が死ぬ日共に多い人が哀哭するようにするためにそれほど決心した」と言いました。このような人が将来に王になる運命を持った限り子供が生まれたという消息を聞いたからどんな反応と態度を見せたのかすることは見るように明白な事です。聖書には「ヘロッド王と全エルサレムが聞いて騒いだ」その記録されました。ヘロッド王は自分の王位を失おうとして不安を感じたしエルサレム市民たちはヘロッド王がどんな残忍な措置を取るかも知れないと感じたから甚だしく恐ろしかったのです。そしてヘロッド宮と全エルサレムがひっくりかえって引っ繰り返るようにさわがしくなったのです。ヘロッドは直ちに反応を見せました。先に祭司たちと書記官たちを召集して「キリストがどこで生まれるのか」してその場所を調べました。あの時書記官たちは「ユタヤのベツレヘムで生まれる」と言いました。書記官は律法学者たちを指称します。ヘロッド王は生まれた赤んぼうが将来自分の地位や権勢をさんだつして、自分のすべての有益を全部奪うはずだというおびただしい誤解をしました。ヘロッド王は最後まで自分の地位と権勢を奪われようとしてベツレヘムにある二歳以下の男の子をすべて殺す残忍で悪辣な行為をしました。「私のご主人は救援を受け入れない人物で悪いです。私のご両親は頑固で絶対に救援受け入れないだろう」こんな否定的なことは言わないでください。

「主イエスキリストを信じなさいそんなにすればあなたとあなたの家が救援を得よう」という聖書お話を固くつかんで「神様、ヘロッド王のように誤解して愚かなものを言いながら逼迫する私のご主人を救援してください。うちのご両親を速く救援してください」と祈ってください。逼迫の中にも感謝してむしろ親にもっと親孝行して妻とご主人にもっと愛を表現をするので彼らを感じさせるようにしてください。不慣れな地に行つて見ず知らずの人々のために命をかけた宣教師たちを思ったら耐える事ができないことなくできない事がないです。私はこのようにして勝利した方々をたくさん見ました。

第二番目は、書記官たちのような反応と態度を取る人々がいます。

聖書を学問研究の材料にしてその以上他の関心のない人々は書記官のような類の人です。そんな類の人の中には教会の講壇で説教する牧師があります。神学生たちを教える教授もあります。彼らは聖書を手まめに読みます。職業とご飯儲けをするために読みます。彼らは言います。貧しいさあ、病んださあ、疎外された者の面倒を見てくれたイエス様の博愛と犠牲精神を模範としたのがキリスト教の本質だと言います。罪の赦し、永生、復活、天国に対しては言うのを憚ります。こんな者等はイエスキリストにひいては黄金と乳香と没薬を差し上げながら敬排する者ではありません。彼らは聖書を研究することそのものが目的になっている書記官たちのようです。皆さん周りに書記官のような人々がいれば手を突き出して導いてください。こんな人は少しだけ導いてくれれば主イエス前に今年可能性がります。エルサレムの書記官たちのようにイエス様に対して、教会に対してよほど分かっているしあるいは好感を持っていながらもイエス様を敬排するままに進むつもりがない人々をベツレヘムに降りてイエス様に敬排しようと強権して導いてくれる人が必要です。聖徒の皆さんが熱心を出してその役目をなさってください。

第三番目は、東方博士みたいな態度を取る人々がいます。

東方博士たちはユダヤ人の王で誕生した赤んぼうに敬排するためのこれ一つの目的にはるか遠い東方から来ました。彼らは川、砂漠、暑さ、寒さ、危険を冒して乗り越えて星の引導に付いて行進しました。万王の王になったその方の前に敬排することをと思つたら心がときめいて感激されて所望があふれてくたびれたとは分からなくて尋ねて来ていよいよエルサレムに到着しました。星がその赤んぼういる所の上に至って止めました。「すぐこちらに王の王がいらっしゃる。こちらにメシアがいらっしゃる」と言うようにその席に止めました。東方博士たちの喜びと感激は形言するあてがなかったはずで、彼らはまぐさ桶に寝かした赤んぼうを見て伏せて赤んぼうに敬排して宝の箱を開いて黄金と乳香と没薬を差し上げました。このすべてのことは東方博士たちが聖霊の啓示と引導を受けたということとを証明します。彼らはその家に入った時ヨセフとマリアを見たがただ赤んぼうにだけ伏せてお辞儀をしました。聖書に記録されるのを「家に入って赤んぼうとその母親マリアと一緒にいることを見て伏せて赤んぼうに敬排して宝の箱を開いて黄金と乳香と没薬を礼物で差し上げました。

もちろんマリアは崇高な信仰を持った女人だったし、信仰の本になって本当に美しい信仰の決断をした女人でした。私たちはマリアに対して尊敬心を持ちます。しかしマリアに敬排してはいけません。神様と私たちの間に仲保者はただイエスキリストしかありません。デモデー書 2:5 節に「神様はただひとりでも神様と人の間に仲保もひとり方だからすなわち人であるイエスキリストだ」と言いました。皆さんが何のために祈ろうがイエスキリストの名前で父の神様に祈らなければなりません。どんな人も敬排の対象になりません。イエス様ばかりが私たちが敬排する方です。ピリポ 2:10 節と 11 節に「天にいる者等と地にいる者等と地の下にいる者等ですべての膝をイエスの名前にひざまずく下さってすべての口でイエスキリストを主と自認して神様お父さんに光栄を捧げるようにだ」と言いました。天使も、マリアも、ヨセフも、どんな人も敬排の対象ではありません。ただ神様の子イエスキリストの前に伏せて敬排して礼物を差し上げなければなりません。東方博士たちがイエスキリストに差し上げた三種類の礼物は黄金と乳香と没薬でした。黄金は王様に差し上げる礼物です。東方の国の中には国王になる赤んぼうが生まれればその赤んぼうに黄金を礼物で差し上げました。乳香は祭司が神様に祭祀差し上げる時一番良い乳香に火を付けてその香りを神様位にあげて送りました。没薬は防腐剤です。死んだ死骸に塗れば腐らないように作用します。没薬を差し上げたことはイエスキリストが万民の罪のために死ぬことを予告するのです。黄金は王権を、乳香は神聖を、没薬は受難と死を象徴するのです。だから東方博士たちの差し上げた礼物はまぐさ桶に寝かした赤んぼうが王で神様で救いぬしだという事実を現われるのです。愛する聖徒の皆さん、私たちもイエスキリストに黄金と乳香と没薬の礼物を差し上げなければなりません。黄金を差し上げることは王を仕えることを意味します。イエス様は王です。王の命令を受けた臣下はその命令の妥当性を計算しないです。ただどんなに王の命令どおりよく行おうかたけを思わなければなりません。イエスキリストのお話に全幅的に従ってください。皆さんが主イエスキリストのお話を順従しながら生きて行つたらイエス様を王で仕えているということを現わすのです。乳香を差し上げることは神様に礼拝することを意味します。イエス様は神様です。皆さんが礼拝するのを楽しがって礼拝中心にすべての事を調整して配しながら生きて行つたらイエス様を神様で仕えているということを現わすのです。没薬を差し上げることは罪から救い代わりのために死んだ救い主を信じることを意味します。イエス様は救世主です。イエスキリストが十字架めりこむ事ができなくたまらなかったです。これを分かって信じる人はイエス様を唯一の救世主に仕えているということを現わすのです。2000 年前に童貞女の身を通じていらっしやう。イエスキリストは万王の王、万主の主として世の中を審判なさろうとまたいらっしやうでしょう。各人が此の世で暮す間にイエス様に対してどんな反応と態度を見せながら暮したと言うのにしたがって彼の運命が決まるでしょう。皆さんの中にはヘロッド王や書記官たちのような反応と態度を見せる人がいないように願います。皆が東方博士たちのように王であり、神様であり、救世主であるイエス様を敬排する者等になってください。愛する皆さんはイエス様のみ言葉に完全に順従して、楽しい心で礼拝を差し上げて、真実の心で救世主を愛して広くのべ伝えながら生きて行くのを成就を祈ります。